



WE LOVE ふくしま



磐梯吾妻スカイライン再開通

観光復興への願いを込めて観光有料道路を無料開放

福島市と会津地方を結ぶ三つの観光有料道路、「磐梯吾妻スカイライン」「磐梯吾妻レークライン」「磐梯山、ゴールドライン」。震災後は、それぞれ昨年四月二十八日に再開通した後、県の施策として七月十六日から冬季閉鎖となる十一月十五日まで無料開放されました。これは風評被害等により深刻な状況に陥っている県内への観光誘客を促進するための措置。

磐梯吾妻スカイライン沿いの観光ポイントの一つ、浄土平レストハウスの村松千尋支所長は、「震災の後、やはり団体客のキャンセルが多かったですね。他県から復興応援ツアーなどもありましたが、人出は七月の無料化前までは例年の三分の一くらいでした。



▲浄土平レストハウスの村松千尋支所長

それが無料化によって一気に増え、紅葉シーズンには一日で八千三百台を超える日もあったんですよ」と、昨年度を振り返り話します。

磐梯吾妻スカイラインは今年度、平成十八年度から取り組んできた四月八日の早期再開通を例年通り実施（昨年は震災のため延期）。三月より、除雪作業や道路の整備、施設の点検など、観光客を迎える準備を着々と進めてきました。通行料に関しては、昨年度に引き続き無料化の措置がとられています。

道路沿線に点在する絶景ポイントと 観光スポット

福島市西方の高湯温泉から土湯峠へ吾妻の山並みを縫う全長二十八・八キロメートルの



▲磐梯吾妻スカイライン景観



▲雪の回廊

コースは、絶景ポイントが数多く点在し、「日本の道一〇〇選」にも選ばれています。沿線からは、昭和三十四年の開通を記念して作家・井上靖が命名した「吾妻八景」が楽しめます。白樺の樹海が広がる「白樺の峰」、イワツバメが舞う「つばくる谷」、天狗が舞い遊んだ伝説にちなんだ「天狗の庭」、一切経山いっさいきやうざんと吾妻小富士に挟まれた「浄土平」、磐梯山と安達太良山を二つの竜に見立てた「双竜の辻」、磐梯山をめぐる四つの湖が遠く望める「湖見峠」、ブナの樹海と白布のような滝のコントラストが見事な「天風境」、会津盆地を遠望する「国見台」など、いずれも見逃せないポイントです。季節によつては、春の種まきシーズンを迎える頃「吾妻小富士」に現われる雪形、雪うさ

ぎ、春先に磐梯吾妻スカイラインの最高地点「鳥子平」付近で体験できる約四メートルの雪の回廊も楽しめます。村松支所長は「今年は例年に比べて雪が多く、二月に降った雪が根雪になっています。ゴールデンウィーク頃でも、雪の回廊や雪うさが見られると思いますよ」と話してくれました。

五月の大型連休が明けると、六月の梅雨時期から七月にかけて浄土平周辺ではイワカガミ、ワタスゲ、ハクサンシヤクナゲなど、数多くの高山植物が見られます。場所によって植生の異なる植物群や、火山特有の荒涼とした景観が広がる「一切経山」の噴気、神秘的な色彩が魔女の瞳の異名を持つ「五色沼」など、トレッキングをしながら眺めることが



▲火山特有の景色



▲イワカガミ



▲浄土平天文台



▲レストハウスの「黒玄米わっぱ飯定食」

できるのも磐梯吾妻スカイラインの楽しみのひとつです。

さらに今年は、日本の本州で「金環日食」を観測できることにちなみ、浄土平天文台でもさまざまなイベントが予定されています。「浄土平天文台は、標高一五七五メートルの位置にある日本一高い公開天文台です。つまり最も星に近い天文台ということ、天文愛好者のメッカなんですよ」と村松支所長。八月には毎年好例の「浄土平星まつり」が開催されます。

「吾妻から元気を」の合言葉で福島の元気をアピール

磐梯吾妻スカイラインを含む三つの観光有

料道路では、オープン前より定期的に放射線量を測定し、福島県道路公社ホームページ上で公表。浄土平レストハウスでもその結果を館内に掲示し準備を進めてきました。すべては訪れる観光客に安心して楽しんでもらうため。レストハウスでは、磐梯吾妻スカイライン関連のグッズやお土産を購入できるほか、郷土料理が味わえます。村松支所長は「二階のレストランからは、吾妻の景色が一望できます。ぜひ美しい景色を眺めながら、おいしい料理を楽しんでください。浄土平レストハウスは、会津地方と中通りをつなぐバイパスとなる磐梯吾妻スカイライン沿線の施設として、福島の観光を盛り上げていきます」とアピール。レストハウス入口には、吾妻から元気を!! の文字が大きく掲示されています。

